東田布施小
だより

金　声

令和８年１１月２日

〈めざす児童像〉
「進んで考える子」
「思いやりのある子」
「たくましくがんばる子」

続けてみませんか、「家読（うちどく）」

図書館教育担当　　山本　志緒里

朝夕すっかり肌寒くなり、秋も深まってきました。読書にぴったりの季節です。

東田布施小学校では、毎月第３日曜日を「家庭読書の日」としており、ご協力いただいております。いつもありがとうございます。

読書は、時や地理的な条件を乗り越えて、様々な仮想体験ができます。文字や言葉から自分の想像力を働かせ、場面や情景、想いをめぐらせることはとても楽しいものです。

読書は学びの基盤にもなります。読書によって、子どもは言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造性を豊かなものにします。そして、新しい情報を獲得することにより、「知的好奇心」をふくらませ、生涯にわたり、学び続けようとする心が培われます。同時に、子ども自身が自分の生き方について考えたり、心のよりどころを見出したりすることにつながります。

さて、読書の秋。今年のおすすめは「家読（うちどく）」です。家族みんなで読書を楽しむ家読に取り組んでみませんか。

「家読」とは、家族のみんなが、読書活動に取り組むことをいい、家族のみんなで図書館を利用したり、好きな本について話し合ったりすることです。「みんなで１冊の本を読む」「家族で感想を語り合う」のが特徴で、それ以外に特別な決まりごとはありません。全国で取り組まれている読書活動で、家庭内のコミュニケーションを深めることもできます。

「家読（うちどく）」のすすめ

・子どもの意見を尊重しつつ、家庭や家族の状況に合わせたやり方で進める。
・１週間に１回程度の実施でも問題ない。
・時間は約１５～３０分くらいが無理なく続けられる目安。
・夜の食事と入浴を済ませたあとなど、家族みんながリラックスできる時間帯に。
・家庭のみんなで同じ本を読んで、感想を話し合う。
・家庭のみんなで一緒に図書館に行き、読みたい本を選ぶ。
・家読ノートを作り、読書記録を残す。　　等

子どもの頃に身につけた読書習慣は、生涯にわたり子どもの健やかな成長の一助となります。そのため、子ども達に確かな読書習慣を定着させるためにも、家庭での読書活動はとても大切です。

１冊の本を通して家族のコミュニケーションを生み出す家読。まずは、お子さんと一緒に本を選ぶところから始めてみませんか。

東小トピックス

職場体験学習

9／30（水）、10／1（木）の両日、田布施中学校生徒による職場体験学習がありました。本校に職場体験に来たのは田布施中学校2年生の生徒3人です。3人の生徒はそれぞれ1年生、2年生、4年生の学級に入り、小学生の子どもたちにアドバイスをしたり一緒に活動したりして過ごしました。

3人の中学生は、一昨年度までは本校の児童だったのですが、職場体験当日には「職業として」の目線で学習時間には懇切丁寧に学びのサポートをし、休み時間には小学生と一緒に遊んだりして積極的に、また、豊かにかかわってくれました。小学生の子どもたちも3人の中学生とふれあうことが楽しかったようで、あこがれを抱いた子も少なくないと思います。

今回職場体験で来てくれた生徒をよいロールモデルとして、数年先、今の小学生にも魅力的な中学生に成長してくれればと思います。





木の実、落ち葉拾い（アデリーホシパーク）

10／23（金）、1・2年生が木の実や落ち葉を拾いにアデリーホシパークに行きました。学校の校庭では見かけないドングリやきれいに紅葉した落ち葉を集め、嬉々とする子どもたちの姿が印象的でした。




社会見学

10／19（月）、3年生は光消防署やあさひ製菓等に社会見学に行きました。たくさん学び、お土産も頂いて嬉しそうにしていました。



カンボジアの学生との交流

10／23（金）、カンボジアから4人の学生が日本の学校の様子や生活を学びにやってきました。主に4年生の学級に入り、ともに学んだり交流したりしました。クメール語で名前を教え合ったりあいさつを交わしたりして楽しく充実した一日になりました。



宿泊学習

10／6（火）、7（水）、5年生が山口県ふれあいパークで宿泊学習を行いました。野外炊飯やウォークラリー、勾玉づくりなどを通して、協力すること、責任をもつことを学びました。



修学旅行

10／22（木）、23（金）に6年生は美祢市、萩市、下関市、北九州市方面に修学旅行に行きました。他校とのふれあいも積極的に行い、思い出に残る楽しい旅行になりました。

